

## 7 前回の議論から

- ▶ 主役である生徒のニーズの多様化(一つの種目を本格的に取り組みたい・複数の種目を楽しみたい)、教員のニーズの多様化(顧問をやりたい・やりたくない)を踏まえた、新しい部活動のあり方を意識したモデルの設計をすべき
- ▶ 産官学の連携により、生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の確保が持続可能となるようなモデルを追求してはどうか

中高連携タイプの種目について、来年度は、改めて高校側にも希望を募り、初心者でも参加しやすいコースも検討するなど、更なる魅力アップの工夫をしていく。

来年度から、民間事業者への事業委託によるクラブ運営組織の立上げのためのモデル研究へ移行していく。